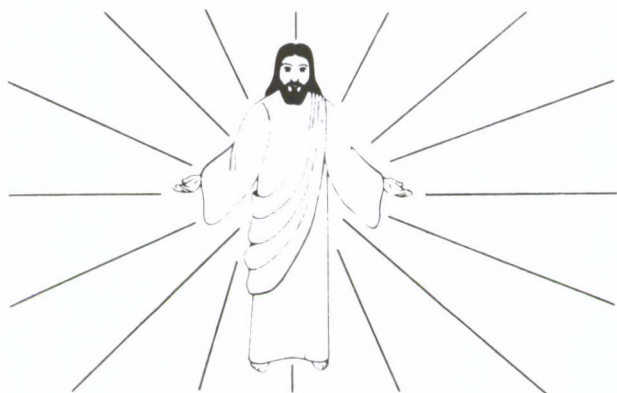


イエス——世の光

6



この課で学ぶこと

世の光

世のやみ

神の光

光の性質

光はやみをしめ出す

光はあらわす

光はエネルギーである

光は公平である

光に対する反応

拒絶

応答

世の光

世のやみ

あなたはやみの中を歩いて見るための、光がほしいと思ったことがありますか。やみの中では、両側か前方か、どこに危険があるのかわかりません。正しい方角に向かっているのかもわからないでしょう。やみの中では道に迷いやすいものです。

さもなければ、何かの危険を感じて不安な夜をすごしたこともあるでしょう。次の日の明るい、陽気な太陽の輝きの前で、どんなにすべてのものが変わってしまうことでしょう。聖書がやみを悪、誤り、不確実、問題の象徴として用いているのがおわかりでしょう。光は命、喜び、真理、あらゆる善の象徴です。

やみとは光がないことです。罪がアダムとエバを、神から分離した瞬間、世は霊的やみの中にほうり出されました。なぜでしょう。神が光の源だからです。神がいなくてはやみにさまようほかありません。どこに行くのかわからず、道に迷うほかありません。聖書はこの状態を説明しています。

イザヤ59：2，9，10 あなたがたのとがが、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。それゆえ、公義は私たちから遠ざかり、義は私たちに追いつかない。私たちは光を待ち望んだが、見よ、やみ。輝きを待ち望んだが、暗やみの中を歩む。私たちは盲人のように壁を手さぐりし、目のない者のように手さぐりする。

真昼でも、たそがれ時のようにつまずき、やみの中にいる死人のようだ。

エペソ4：18 彼らは、その知性において暗くなり…。

第1ヨハネ2：11 兄弟を憎む者は、やみの中におり、やみの中を歩んでいるのであって、自分がどこへ行くのか知らないのです。やみが彼の目を見えなくしたからです。

自習のために

1. やみとは何ですか。
 - 1) それ自体、力。
 - 2) 光のない状態。
 - 3) 見えないこと。

2. どうして靈的やみが、この世にもたらされましたか。
 - 1) 運命によって。
 - 2) 靈的光がないから。
 - 3) 人間を神から分離した罪によって。

3. 以下の題目にふさわしいものを次の中から選びなさい。
(命、死、喜び、善、悪、愛、憎しみ、誤り、真理。)

やみ

光

.....
.....
.....

神の光

神は光です。あらゆる光の源です。人間は神の光の特別な啓示を受けるまで、靈的やみの中にいます。だからイエスが世の光とされたのです。彼は私たちに神の光をもたらすために来られました。神の愛と私たちに対する神のみこころを示すために来られました。

第1ヨハネ1：5 神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。

ヨハネ1：4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。

ご自分についてのイエスのことばに耳を傾けて下さい。



ヨハネ8：12 わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。

ヨハネ9：5 わたしが世にいる間、わたしは世の光です。

イエスが御自分を世の光と呼んだのを聞いても驚くべきではなかったはずです。預言者イザヤがメシヤは神の光として来ることを預言しているからです。マタイはこの旧約の預言を引用し、その預言がイエスにあって成就したと言いました。

マタイ4：16 暗やみの中にすわっていた民は偉大な光を見、死の地と死の陰にすわっていた人々に、光が上った。

自習のために

4. 神は光であると言っている聖書の箇所はどこですか。
.....暗唱して下さい。
5. 「わたしは世の光です」とだれが言いましたか。
.....
6. ヨハネ8：12を暗唱して下さい。彼に従うなら、私たちは何をもつとイエスは言いましたか。
.....

光の性質

光はやみをしめ出す

光であるイエスはやみをしめ出します。イエスが心の中におられれば、罪、罪責、恐れはしめ出されます。イエスの愛は憎しみを追い出します。彼の光は希望、確信、慰め、力を魂にもたらします。

詩篇27：1 主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがらう。



光は暗黒よりも強くあります。「世界中のやみも、ろうそくの火一本を消すことはできない。あなたが人生にイエスをもてば、あなたの周りの悪の力と人生の暗い経験は、イエスの光を消すことはできないのです。何か月もの間病気で床から離れることのできなかつたひとりのクリスチャンの婦人が、いつも明るい表情をしていました。太陽を見ることさえできないのに、どうしてそんなに明るいのですかと聞かれて、彼女は答えました。「わたしの部屋は暗くても、心の中にはイエスさまがいます。」イエスは暗さを追い出す霊的光の、彼女の心の源だったのです。イエスは彼女の魂を日の光であふれさせました。

ヨハネ 1 : 5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

ミカ 7 : 8 やみの中にすわっていても、主が私の光であるからだ。

自習のために

7. 何が恐れ、罪責、罪、憎しみ、怒りを心から追い出しますか。

..... 1) 積極的思考。

..... 1) 正しい態度のルール。

..... 3) 人生にイエスを迎え入れること。

8. 考えて下さい。あなたの人生からこういったやみをしめ出すために、あなたもイエスを必要としていますか。苦しかったり、問題があったとき、あなたには輝き出る心の光がありますか。

光はあらわす



光は物事のありのままの姿を見せてくれます。霊的真理が見られる唯一の方法は、神からくる霊的光をもって見ることです。この光は神の記されたことば、聖書と神の生きたことばイエス・キリストの中にあります。イエスは人生に光を与え、人生を解き明かすおかたです。彼は私たちが神のことばを理解するのを助けて下さり、私たちに神のみこころを示して下さいます。彼自身が道なのです。

ヨハネ14：6 イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

イエスは私たちが、自分のありのままの姿を見るのを助けて下さいます。彼の完全な生涯と教えの中に、私たちはいかに神の標準に遠い存在なのかがわかります。私たちは自分の罪、高慢、自己中心、隠れた動機を見られます。イエスは私たちがゆるされなければならないことと、彼が与えて下さる新しい命を示されます。

イエスは神がどのようなおかたであり、どのようにして神は私たちの必要に答えられるかを示されます。イエスの中に、私たちは神の愛と忍耐を見ます。また私たちの救いのための神の備えを見ます。彼は私たちにどのようにして神を人生に迎え入れて、彼の光を永遠に喜ぶかを教えて下さいます。

第2コリント4：6 「光が、やみの中から輝き出よ。」
 と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔に
 ある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。

ヘブル1：3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質
 の完全な現れ……。

自習のために

9. 私たちと神と人生とについての真理がわかる二つの場
 所をあげて下さい。
 1)
 2)
10. 第2コリント4：6を暗唱して下さい。
11. 第2コリント4：6の中で、神の栄光は、どこに輝い
 ていますか。.....
12. 神の栄光の知識の光をもたらすために、神は私たちの
 どのような部分に、神の光を照らし出しましたか。.....

13. ヘブル1：3で、イエスは何の光をもって輝きますか。

14. 考えて下さい。あなたもイエス・キリストの御顔に輝
 く、神の栄光を見たいと思いませんか。

光はエネルギーである

光は発光のエネルギーです。科学者たちは、太陽から発光する光の力について、ますます多くのことを知ってきました。そのエネルギーは大きな力の源で、人間が利用できるものです。家を暖めるために、また機械を動かすためにも使うことができます。しかし、最大の影響力は生命と健康に対して与えられます。多くの植物は日陰では育ちません。日光は多くの細菌を殺して、私たちの健康と力に役立ちます。太陽のない地球を考えて下さい。暖さがありません。命もなく、維持する力もありません。凍りついた地球は暗黒の空で滅亡する以外にありません。



太陽と地球の関係と同じように、義の太陽であるイエスと私たちの関係も同じです。イエスは暖かさ、健康、エネルギー、力などを、彼を受け入れる者に与えられます。彼の力は私たちを、正しい道に与えてくれます。彼は私たちの体と霊をいやされます。イエスの与えられる命の光は、死よりも強いのです。種からはえて日光を受けて育つ植物のように、イエスに従った死人も、新しい体をもって墓からよみがえり、イエスが再び来られるとき、彼に会うようになるのです。

マラキ4：2 しかし、わたしの名を恐れるあなたがたには、義の太陽が上り、その翼には、いやしがある。

自習のために

15. マラキ4：2の中には、イエスのどのような称号がありますか。.....
16. 考えて下さい。太陽のない地球のように、イエスのない人はどうなるでしょう。そのような人を知っていますか。もしそうなら、そういう人がイエスを知るように、神に願い求めて下さい。

光は公平である

光はすべての人、すべての場所のためにあります。光が丘の上や、谷間、富める者と貧しい者、賢い者と愚かな者を照らすように、イエスの光も、良い人、悪い人の別なく全世界のために輝いています。ある人は救い主が自分の国だけのためにあると考えていました。しかし、神は、救いの光は全世界のためのものであることを明らかにしました。

ヨハネ1：9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。



ルカ1：78, 79 これはわれらの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、日の出がいと高き所からわれらを訪れ、暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、われらの足を平和の道に導く。

ひとりの盲人が物乞いをしながら道ばたにすわっていました。彼は群衆が近づいてくるのを聞きました。彼はイエスが通りかかり、群衆も彼と共にいることを知りました。その乞食はイエスのいやしの力を聞いていました。彼は大声で叫びました。「ダビデの子、イエスよ、わたしをあわれんでください。」人々は彼をしかり、黙れ、と命じました。乞食を助ける時などイエスにはないと彼らは思ったのです。しかしイエスは、彼を呼ぶすべての人を助けるために、いつでも時をさきました。乞食はなおも叫びつづけました。イエスは立ち止まって乞食を呼びよせました。イエスは彼をいやさされました。



ルカ18：43 彼はたちどころに目が見えるようになり、神をあがめながらイエスについて行った。

乞食がイエスに会ってからは、人生は新しい意味と、新しい方向をもち始めました。彼の暗黒の世界は真昼になりました。彼が以前どうであったかは問題ではなかったのです。どこにすわって物乞いをしていたか、やみの世界でどんなにつまずいたかは問題になりませんでした。今、彼は光のうちを歩き始めました。もはや盲目の乞食ではなく、世の光であるイエスの弟子としてです。

自習のために

17. ヨハネ 8 : 12には、イエスは次のことのために来たとあります。
- 1) 彼の国民のためだけの光。
 2) 義の太陽。
 3) 世の光。
18. ルカ 1 : 78, 79を成就して、神は救いの明るい夜明けを.....の上へのぼらせ、死の陰に.....の上に、天から光を照らしました。
 ルカ 1 : 78, 79を再読して、今度は空白の箇所に、自分の名前を入れて下さい。
19. 考えて下さい。イエスを呼び、イエスに会うことで、どのようにして、乞食の人生は変わりましたか。あなたが同じようにすると、イエスはどのようにあなたの人生を変えるのでしょうか。あなたのまわりには、イエスを必要としている人がいますか。あなたはそういう人をイエスのもとにつれてきますか。それとも通りすぎますか。

光に対する反応

拒絶

ある人はイエスが好きでなく、彼の光を受け入れることを拒みます。彼らは自分のしたいこと、勝手なことを行ない、生活して、イエスのことばを行ないません。イエスが地上におられたとき、ある人は彼を憎みました。彼の教えが彼らが罪人であることを示したから

です。彼らは光を消そうとしました。彼を殺そうとしました。彼らは福音に敵対しました。イエスは彼らにご自分がすべての人のために救いをもたらすために来たことを知らせました。彼を受け入れる者はだれでも救われます。しかし彼の光を拒む者は、自らを罪に定め、暗黒に生き、暗黒に死ぬようになります。

ヨハネ 3：19, 20 そのさばきというのは、こうである。光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行ないが悪かったからである。悪いことをする者は光を憎みその行ないが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。

自習のために

20. 考えて下さい。あなたはイエスを拒絶した人を知っていますか。どうして拒絶したと思いますか。彼らはどうなるでしょう。彼らがもっとイエスのことを知ったら、心を変えたであろうと思いますか。イエスを受け入れようかどうかと、決断をのぼしている人はどうでしょう。これも拒絶だと思いますか。それはどの程度危険でしょうか。神がイエスにあって、彼らに与えられた救いを拒絶した者を、神はどう感じると思いますか。

応 答

イエスは「わたしに従う者は命の光を持つ」と約束されました。これは所有することであり、継続的な経験です。イエスは光です。彼を持つことは命の光を持つことであり、光がもたらす全てのことを持つことです。世の光を持つことは知識以上、意志力以上、ある宗派に属していること以上のものです。それはイエスについて知ったり、彼の教えを知ったりする以上のことです。それはイエス御自身をあなたの人生に輝く、エネルギーにあふれた、明らかにする力として持つことなのです。



イエスは「わたしに従う者は」と言われました。神の光を持つために、私たちは何かをしなければなりません。それはイエスに従うこと、彼の光のうちを歩くことです。喜んで真理を受け入れ、彼に従う者には、神は御自身と御自身の真理を啓示されます。彼は私たちが日々導いて下さるのです。

第1ヨハネ1：7 しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

箴言4：18 義人の道は、あけぼのの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。

あなたもイエスに従って、命の光を持ちたいと思いませんか。今あなたの生活のすべての領域に、彼を迎え入れて下さい。彼の輝く臨在によって、あらゆるやみをしめ出して下さい。彼の光に従って、周囲の人たちにその光をわけて下さい。神の光に満たされるように、彼に立ち帰って下さい。

祈り イエスさま、どうぞ私のところに来て下さい。私の罪やおそれのやみを取り除いて下さい。あなたが望んでおられる人に、私を造り変えて下さい。あなたの光によって輝かせて下さい。毎日あなたに従うことができますように。あなたの光を感謝します。



自習のために

21. 第1ヨハネ1：7を暗唱して下さい。光の中を歩むと、イエスの血は私たちに何をするのでしょうか。
.....
22. 今までイエスを受け入れていなかったとしたら、今受け入れませんか。今の祈りか自分の祈りをささげることができます。もし彼を受け入れているなら、彼の光を感謝して下さい。光の中を歩み、人にも分け与えることができますように、祈り求めて下さい。
23. あなたの答えを採点し、第6課の返信用受講生記録に書きこんで下さい。

第6課 正解

この課の質問は、24項目あります。22～24の正解は優秀、18～21は優、13～17は良です。13以下の正解の場合は、もう一度この課を読み直して下さい。

1. 1) 光のない状態。
2. 3) 人間を神から分離した罪によって。
3. やみ（死、悪、憎しみ、誤り）
光（命、喜び、善、愛、真理）
4. 第1ヨハネ1：5。
5. イエス。
6. 命の光。
7. 3) 人生にイエスを迎え入れること。
9. 1) 聖書の中。2) イエスにあって。
11. キリストの御顔。
12. 私たちの心の中。
13. 神の栄光の輝き。
15. 義の太陽。
17. 3) 世の光。
18. 私たち、生きる全ての人。
21. 私たちの全ての罪をきよめる。

正解数..... 採点.....

第6課の返信用受講生記録に記入して下さい。